

# そばだより

第1号  
令和5年7月18日発行  
西村山農業技術普及課  
TEL：0237-86-8287

## 高品質そばの収量確保には、排水対策が必須！

### 【圃場の準備】

#### 1 排水対策

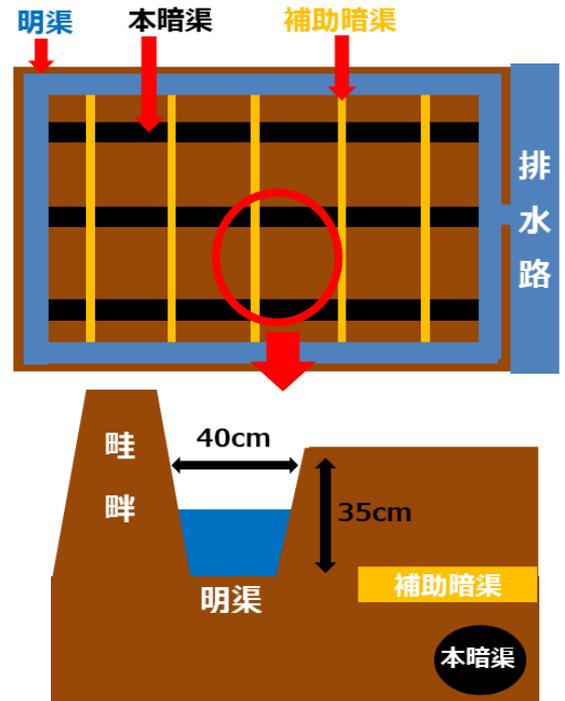
そばは、播種から生育初期にかけて湿害を受けると、生育が著しく抑制され収量が低下します。

☑雨水は地表からの排水が基本です。播種前に畦畔に沿って明渠を掘りましょう。

☑明渠の深さは 30～40 cmとして、確実に落水口につながしましょう。

☑排水が極度に悪い圃場は圃場内にも明渠を掘りましょう。

☑水田転換畑は湿害が発生しやすいため、本暗渠に加え、補助暗渠（弾丸暗渠、粃殻暗渠、サブソイラによる耕盤破碎等）を積極的に組み合わせましょう。



#### 2 土づくりと施肥

☑そばは、石灰と苦土の吸収量が多いため、pH が 6.0 を下回る圃場は、酸度矯正も兼ね、苦土石灰を 100kg/10a 施用しましょう。

☑基肥の目安は、成分量で窒素は 2～4kg/10a とし、リン酸とカリウムは 6～9kg/10a です。

☑出芽安定のため、碎土率 60%以上(直径 1cm 以下の土塊の割合)となるように耕耘しましょう。

### 【播種】

そばは、早播すると生育が大きくなり倒伏しやすくなります。また、遅播では生育が小さく減収します。計画的な作業で、適期に播種しましょう。

☑播種深度は約 2 cm、播種量の目安は、条播 5～6kg/10a、散播 7～8 kg です。

☑播種適期は、7月26日～8月5日です。晩限は8月10日!!

☑気温の低い中山間地域では、7月20日～7月31日に播種を行いましょう。

※湿害による出芽不良を避けるため、直後に大雨が予報されている場合は、播種を延期しましょう。

**STOP 農作業事故！ 熱中症に要注意！**

機械の点検は必ずエンジンを止めて、動かないことを確認してから行いましょう！